

第2回思いきり遊ぶ親子交流施設基本構想検討市民会議 会議録

開催日時	令和8年7月15日(水)午後6時48分～午後8時00分
開催場所	飯田市役所 C311-313 会議室
出席委員	中山勇魚、佐々木宏幸、秋廣まどか、池田章子、市岡睦月、伊東正晴、小笠原このみ、北村崇綱、熊谷太三郎、黒河内智子、小林孝至、小松勝彦、坂井公淳、坂井俊輔、澤柳紀子、塩澤章男、塩澤哲夫、杉山美歩、竹村朋香、竹村信之、多田政司、田中秀彦、外松秀康、中本知沙、野口心暖、樋口昭三、壬生江美、矢澤日和、吉本富美子
欠席委員	桑原利彦、氣賀沢公彦、諏訪結芽子
出席職員	飯田市長 佐藤 健、こども未来健康部長 山崎由紀恵、こども課長 筒井孝治、子育て支援係長 植松一成 子育て支援係 宮嶋奈保子、代田修平
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 市民会議の今後の進め方について 資料：基本構想のイメージと市民会議の進め方 4 意見交換 (1) 情報共有 (2) グループワーク テーマ ・今、何が変わっているのか（背景） ・これからも大切にしたいことは何か（価値） ・こどもたちに、どんなこども時代を過ごしてほしいか（願い） (3) コメント 5 事務連絡 6 閉会

1 開会

○部長 それではただいまより、思いきり遊ぶ親子交流施設基本構想検討市民会議を開催いたします。市民会議の司会進行を務めさせていただきます、こども未来健康部長の山崎でございます。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて進めさせていただきます。はじめに、飯田市長より皆様にご挨拶を申し上げます。佐藤市長、よろしくお願いいたします。

2 あいさつ

○市長 改めまして皆様、こんばんは。今日はお忙しい中、市民会議のメンバーの皆様にお集まりをいただきまして、ありがとうございます。

前段の佐々木先生のご講演から聞いていただいた方が多いかと思いますが、今回は中山さんのお話をお聞きし、市民会議の場面では、自己紹介の形でそれぞれどんな思いで市民会議に臨んでいるかというところまでお話をいただいたわけですが、後でアンケートなどを見ると、これからどう進んでいくのか、進め方がちょっとよくわからなかったとか、もうちょっといろいろ議論したかったという感想をいただいていた。

今日は、今後どういうふうに進めていくかという進め方と、それからこの後ワークショップ、グループワークがありますけれども、前段のご講演で佐々木先生からお話いただいたように、これからこの市民会議の中で、どういう過ごし方をする空間を作っていくか、どういう状況を作りたいのかということそれぞれの班にテーマを持っていただいて、それぞれのテーマでご議論いただく、そういうことが第2回の市民会議になります。今年度中に、市民会議として基本構想をまとめたかなと思っていますので、今日の第2回目の会議も、いきなり非常に重要な会議ということになるかと思います。いろんな立場、いろんな年代の方々にお集まりいただいている中で、今日は前回よりも少し踏み込んで実質的なグループワーク、意見交換をしていただくことになります。ぜひ、日頃お考えのこととか感じることも含めて、積極的なご発言をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○部長 ありがとうございます。本日の会議ですが、20時には終了したいと思います。会議のスムーズな進行にご協力をお願いいたします。

3 市民会議の今後の進め方について

○部長 続きまして、市民会議の今後の進め方について、配付資料に基づきましてご説明をさせていただきます。説明はこども課長より行います。

○課長 よろしくお願ひいたします。着座にてお話をさせていただきます。資料はこの青い帯の「基本構想のイメージ」という横書きの資料をご覧いただきたいと思います。それでは説明させていただきます。

この会の今後の進め方・スケジュールを共有させていただきます。6月に第1回目の会議を開催しました。中山先生から「あそびこそ、さいこうのまなび!」というタイトルでご講演をいただきました。こどもが遊べなくなっていること、遊びと自分でやりたいと思ったことに挑戦すること、こどもがこどもとして生きていくために必要なものということを学びました。

また、本日は佐々木先生から「思いきり遊ぶ親子交流施設が中心市街地で期待される役割・効果」というテーマで、丘の上の将来像のイメージ、親子交流施設の位置づけ、新文化会館の基本構想の経過、場所・状況を作るとはどのようなことかについてお聞かせいただきました。お二人のご講演も踏まえて、今後検討を進めてまいります。

会議は合計5回を予定しております。

本日は、こどもたちを取り巻く環境がどう変化しているか、環境が変化していきますが、自身の経験なども踏まえてこれからも守っていききたいもの・ことは何か、こどもたちにどんなこども時代を過ごしてほしいかという願いについて、3つのグループにわかれて検討いただきます。グループ分けは皆さんの立場・年代等を踏まえて、こちらで設定をさせていただきました。本日はこのグループでテーマについて個々で検討、皆で共有して意見や思いを整理します。各グループには、この後事務局職員がつきますので、説明を聞いていただき、進行にご協力ください。

第3回は、本日皆さんから聞かせていただいた意見を事務局として整理し、基本理念の案をお示ししたいと思います。それはたたき台ですので、また皆さんからご意見等を聞かせていただき、まとめていきたいというふうに思っています。その後、基本理念を実現するためにどんな状況であつたらよいか、そのような環境のもと、誰にどのように過ごしてほしいか、そのために必要な機能は何かを検討いただきます。

第4回は、それまでの会議で議論してきたことを皆さんで共有するとともに、どうしたら長く愛される場所になるか、運営や利用のあり方についての検討をいただきます。

第5回は、これまで議論してきたこと、集約できたことを事務局として基本構想案として整理したものをお示しし、皆さんからご意見を聞かせていただき、最終的な形として表していきたいと思っています。

第3回以降の日程につきましては、下段に記載してある日程のとおりで開催を予定しております。皆さんお忙しいとは思いますが、ご出席くださいますようどうぞよろしくお願いいたします。私からは以上です。よろしくお願いいたします。

○部長 ただいまの説明につきまして、ご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

4 意見交換

○部長 それでは、これより意見交換をしていただきます。先ほどご説明いたしました市民会議の今後の進め方のうち、今何が変わっているのかという背景、これから大切にしたいことは何か、こどもたちにどんな時代を過ごしてほしいかについて、3つの班にわかれてグループワークをしていただきます。各班のテーマそれから時間配分は、次第に記載してあるとおりですのでご確認をお願いいたします。グループワークの最後には班ごとに発表していただきますので、発表しやすいように、記録する人・発表する人をまず班で決めていただきたいと思います。

(1) 情報共有

○部長 グループワークを始める前に、情報提供としてこども課長より少しご説明をさせていただきます。

○課長 引き続きご説明させていただきます。お配りした資料に「グループワークの前に情報を共有します」という資料をお配りさせていただきました。そちらをご覧ください。飯田市の今をデータで見たいと思います。

1ページですが、こどもの数の推移を表しています。飯田市のこどもは減り続け、40年前の約半分になりました。総人口に対するこどもの割合も約10ポイント低下しております。

資料をめくっていただいて、2ページになります。核家族化の推移および母親の就労について記しています。3ページは、子育てに関し安心して相談できる先をまとめています。祖父母と別居する家庭が増え、おじいさん・おばあさんを頼りにくくなっています。また、就学前のこどものいるお母さんの約8割が働いており、フルタイム勤務が増加しております。ちなみに、男性の就労率は従前より90数%のままで推移しています。共働きの家庭が増えていることがわかります。子育ての悩みを相談できる人・場所がないと感じる人が増えており、周囲に頼れる人がいない、忙しさが増すことで孤独を感じている人は増えています。

続いて4ページをお願いします。子育てに関する悩みや不安について調査しました。就学前の親御さんはこどもの病気・発育・発達が心配、小学生の親御さんはこどもとの時間が取れないというお声があります。共通の悩みとしては、叱りすぎてしまう、子育てにお金がかかる、仕事との両立が大変が挙げられます。

5ページをお願いします。こども・保護者を取り巻く環境の変化・課題等がありますが、飯田市のいいところ・強みを整理してみました。これらは「いいだ未来デザイン2028」の策定時や他の会議で議論されたものをまとめています。

人とのつながり。飯田市は公民館活動や地域の行事などを通じて、人と人とのつながりを大切にする文化があります。こどもたちは家族だけでなく、地域のさまざまな世代の人と関わりながら、多くの人に見守られ、支えられています。

暮らしの中の体験として、山や川などの豊かな自然だけでなく、農業や地域のお祭りなど日々の暮らしに息づいています。こどもたちは地域の人との関わりを通じて、遊びや体験を重ねながら学び、地域への愛着や感性を育むことができます。

文化と学び。人形劇などの文化芸術活動や伝統芸能、公民館活動など、市民の学び・作り・伝える文化が根付いています。こどもから大人まで多くの人が文化に親しみ、その価値を次の代へと受け継いでいます。

次に、ともにつくる。「ムトス」という言葉に表現されるように、一人一人が主体的に行動し、協力しながらよりよい地域を作っていくことが受け継がれています。これ以外にも皆さんが感じていらっしゃるであろうかと思います。

最後のページになります。市民の皆さんからは、このような声が寄せられています。雨や猛暑など天候に左右されず、こどもが思いきり遊べる屋内の場所が欲しい。乳幼児

だけでなく、小学生のきょうだいまで、家族みんなで楽しめる場所が必要との声が寄せられています。この声にも応えたいと思い、今年度、市民会議を創設し、皆さんのご意見を聞かせていただき、どのような場所にしたらよいかを集約してまいります。

以上、この後皆さんにお願いするグループワークの参考として情報の提供をさせていただきました。よろしくお願いいたします。

○部長 はい、ありがとうございました。それでは各班の進行役に職員が移動しますので、グループワークを始めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(2) グループワーク

○部長 それでは時間になりましたので、1班から発表をしていただきます。まず1班は「今、何が変わっているのか」ということで発表をしていただきます。

○1班 それでは1班の発表をしたいと思います。「今、何が変わっているのか」という題目で皆さんと分析しました。昔と今で子どもたちがどう変わっているのかということ、まず現象をみんなで洗い出して、その背景としてどんなことが考えられるのかということピックアップしてグルーピングをしてきました。

現象で一番大きかったのは、遊び友達が減ったとか、集団で遊ぶことが減ったとか、こどもだけで遊べないとか、外で遊べない、地域の大人やこどもとの会話が少ないといったことです。その背景としては、YouTubeを見たりゲームをしたりとか一人で遊べることが多くなった。デジタルが進んできてデバイスがたくさん出てきたということと、一人で過ごせるアイテムがあることも挙げられます。また、核家族化が進んでおじいちゃん・おばあちゃんがないということで、一人で遊ばざるを得ないという背景があるんじゃないかという意見が出ました。

それから、こどもが忙しいという現象として、習い事や塾などいろんなことがあって、こどもが忙しくて遊ぶ時間はないんじゃないかという現象がありまして、その背景としては、選択肢が昔より増えたということが挙げられます。昔だったら男の子は野球しかなかったのが、今はサッカーやバスケなどいろんな機会が増えた、塾なども昔より選択肢が増えて、子どもたちがいろいろ選べるようになったということがあるんじゃないかという話が出ました。

それからこういった現象の根本的な背景として、お母さんが働くようになって大人が非常に忙しくなってしまったということと、昔よりも大学進学などを意識して小さいうちから塾通いをさせるようになったということが根本的な原因としてあるんじゃないかという意見が出ました。また、大人もこどもも「駄目」と言われることが多くなったという意見も出ました。こどもに対していわゆる過保護になっているんじゃないかという意見や、外的な要因としては、空き地が少ないとか、外が暑くて遊べないとか、安全第一で怪我をしてはいけないといった方向に動いているという意見も出ました。中山先生のお話にもありましたけど、昔はみんなで川に遊びに行ったのが今はこどもだけで川に行っては駄目という形になっていて、昔を知っている大人から見ると、こどもたちにとって窮屈なことになっているんじゃないかというような感じの意見がまとまりました。以上です。

○部長 ありがとうございます。続きまして2班、お願いします。「これからも大切にしたいことは何か」について発表をお願いします。

○2班 2班では「これからも大切にしたいことは何か（価値）」というテーマでグループワークを行いました。まず最初に、大切にしたいこととは何かという例を提示していただいたものをもとに各自で、自分が大切にしたいと思うことを、抽象的なものとそれに付随する具体例も混ぜながら列挙して、類似するものをまとめ、最終的にはグループの中でどういうものを大切にしていきたいかということを考えましたので、それぞれお話ししたいと思います。

要素としては全体が輪になるような形で、大体5個くらいの要素になっていることが見てとれるかと思います。一つ大きなものとしてあったのは、先ほどの1班のお話でもありましたが、自由度というところ、そして自分が肯定されているという広い意味での自由度というところで、友達と一緒に遊べるとか、親に怒られずに遊べるとか。また親御さんたちからしても、こどもたちを見てくれる環境があって、自分たちも悩みを他の親御さんたちと打ち明け合ったり最近の話をしたりして交流できる、それぞれの立場に立ったときの自由度が保証されているということが一つ大切にしたいんじゃないかという話になりました。

続いて右側は、大きく分けて人との繋がりというような話で、グループの中に飯田出身でない方もいらっしゃって、そういう方からすると、私たちが何気なくする世間話だったりちょっとした挨拶だったりというのが新鮮に映るようで、中にいる人間からしても、そういう人との繋がりというのを大切にしていきたいなと思うところでもありますし、それ以外にも、共感できるということや、人と関わることによって得られるものと

いうのも一つ大切にしたいことなんじゃないかという話になりました。

右下は、大切にしたいことの中でも結論に至る部分なのかなと個人的には考えているところですが、体験的なお話として、人と何かを作るときに得られる体験、知らなかったことを知る体験、自分の成長に繋がった体験、新しい体験などなど、何かに行ったり参加したりして体験する・経験するということは大切にしたいという話になりました。

それ以外にも、大切にしたいものの具体的な要素としては、場所についての情報や、その場所に行くという目的、楽しさ、イベントやフェスなど具体的な催し物があるということも大切にしたいということが出ました。それらを総合的に考えて、グループとして根幹に据えられる大切にしたいことは何かというと「楽しさ・また行きたいになる」です。これを根幹に据えると、自由があれば楽しさが生まれる、人との繋がりがあれば楽しさが生まれる、体験や経験があれば楽しさが生まれる、自分の求めているものがあれば楽しさが生まれるということで、ちょっと抽象的ではありますが、やっぱり楽しさというところにこそ遊び・思いきり遊ぶ理由があり、中山先生のお話にもあった通り「やりたい」になる楽しみがあれば「やりたい」になると思いますので、これが私たち2班がまとめた「これからも大切にしたいこと」になるのかなと思います。以上です。

○部長 ありがとうございます。それでは最後に3班から、「こどもたちにどんなこども時代を過ごしてほしいか」について発表をお願いします。

○3班 それでは3班の発表を始めさせていただきます。3班は「こどもたちにどんなこども時代を過ごしてほしいか（願い）」ということで話し合いを持ちました。

先ほど2班のところにもありましたが、まずは人との繋がりというところが出てきました。これは2班のところにもそのまま繋がってくることだと思うんですが、大人たちの願いとしても、まずは人と繋がっていくということがこどもたちの成長にも、その先の人生にも重要だということで、人との繋がりが最初に出ました。この中には大人とこどもの繋がりであったり、こども同士の繋がりであったり、その中から相手を思いやるということへ繋がっていくというふうに話が出ました。

そして量としてはかなり多く出たのが、挑戦してほしいという内容です。例えば安心して失敗をする、挑戦をする中で失敗するということが学びとしてとても重要なことですし、やりたいことに挑戦してほしい、またゼロから遊びを作って楽しむその中でも挑戦して行ってほしいということが出ました。

それ以外には、これは飯田らしいところであるかと思うんですが、自然の中で過ごしてほしい、自然を感じて楽しんでほしいということがあります。そんな中で感性を豊かにする、外で遊ぶ、泥んこになって遊ぶ、スマホよりも楽しいことを自然の中で見つける、そんなふうに育ってほしいということが出ました。また、飯田の文化を知ってほしい、人形劇であったりその他の部分もありますが、飯田の文化ということも知ってほしいというふうに出てきています。

それ以外には、こども時代を大きくなってから思い出したときに、自分の故郷が好きであったり故郷に戻りたいという、そんな思い出を持つことができるようなこども時代を過ごしてほしいということも出ました。また他のところでも出ていたと思いますが、こどもたちだけでも安全に過ごしてほしいし、ただその中で、自分で危険と安全を判断できるような環境を大人が整えながら、危険を学びながら安全も感じて育ってほしいということも出ました。

最後に「らしく」とあるんですが、少し抽象的にはなりますが、こどもらしく育ってほしい、自由に発想して、自分を大切にする、こどもが持つ魅力、そしてこどもだから持っている特権のようなこどもらしさを大切に過ごせるような、そんな過ごし方をしてもらえたら嬉しいという意見が出ました。3班からは以上です。

(3) コメント

○部長 ありがとうございます。それでは、各班の発表内容に対しまして、学識委員の皆様から一言ずつコメントを頂戴したいと思います。

○学識委員 はい、皆さんありがとうございました。とっても面白いというか楽しいというか、お話を聞いたんですけれども、短い時間ですごく活発に議論されていて素晴らしいなというふうに思いました。

今聞いていて、大人のお願いと、こども・若者がこうしたいというのは実は結構共通しているなということを感じました。特に、大人がもっと自由に過ごしたらいいんじゃないか、忙しいんじゃないか、もっと自由に遊んだらいいんじゃないかということと、若者のもっと自由が欲しい、自由にやりたいことをやりたいという楽しさ、ここにいる大人の方はほぼ全員がこどもに楽しく過ごしてほしいと思っていると思うんですよね、楽しくなく過ごしてほしいとは思っていないと思うんですけど、若者の皆さんも楽しい、やりたいということを大事にしたいという話があったりとか、結構共通点はあるなと。でも実際1班では割と背景の話がありましたが、実際できていない部分もあるよ

ね、と。一方でそのこども自身に原因があるんじゃないじゃなくて大人とか社会の側に原因があるよねという話もちょっと出ていて、一つ一つの背景自体は、良いとか悪いとかという判断ができない。例えばお母さんが働くようになっておうちに誰もいないから習い事に行ったり学童に預けたりするということ、このこと自体は、お母さんが働くこと自体は別に悪いことでもないし、働きたい人にとっては良いことだし、働きたくないけど働いている人にとっては悪いことかもしれないんですけど、そのこと自体は良いとか悪いとか判断できない社会の事象で、大学に皆が行けるようになったことは良いことかもしれないし、それによってこどもが忙しくなっていることはもしかすると大変かもしれないみたいな非常に判断しにくいことだと思っています。

ただやっぱり、社会とか大人とか環境がそれを生み出しているのであれば、ちょっとずつでも良くしていかなきゃいけないなというふうに思いますし、つい一昨日も EU でこどもの SNS 全面禁止ということが発表されて、オーストラリアとかカナダとかもやっていますけど、今世界中で大人がどうしたらいいんだろうと正解がわかっていないと思います。どこの国でもどこの地域でも一緒だと思うので、そうなってくるとこの飯田市でこどもが豊かに育つとはどういうことか、飯田らしさというか、唯一の正解は多分もう誰もわからないので、飯田市でこどもたちが楽しく豊かに自分のやりたいことをやりながら育っていく環境をどうやって作ったらいいんだろうということを、飯田らしさみたいなものをみんなでまさに話し合っ作っていくしかないんだろうなというふうに思っていました。すごく活発に皆さん議論されていたので、次回以降もぜひ楽しく議論していきたいなというふうに思いました。以上です。ありがとうございます。

○部長 ありがとうございます。続いてお願いいたします。

○学識委員 はい、皆さんどうもお疲れ様でした。まず皆さんの議論それから発表を聞いていて、この短時間で素晴らしい成果を上げるんだなというのを本当に正直にそのように思いました。具体的な内容に関しては中山先生の方からいろいろとご指摘もありましたので、その点は私から特に言及をさせていただきますけれども、今日の会議を見ていて思ったのは、とにかくこれだけ多くの年代の方々がいわゆる一つの施設といいますか、場に関してこれだけ活発な議論を交わし、かつそれは中山先生もおっしゃっていましたけれども、思っている以上に一つの方角を向いているんだというのが非常に印象に残りました。

ここに参加されている委員の皆さんとそこで交わされる議論を見てみると、いわゆるこの場の会議というのは、飯田の未来そのもの、いわゆる人が最大の資源というふうに考えたときに、飯田で暮らしている皆さんが飯田の未来そのもののあり方を議論してい

る場だなというふうに改めて認識をいたしました。第3回目で皆さんの議論が理念という形で仮置きされ、それが最終的に基本構想へと練り上げられていくということかと思えますけれども、まさに今日皆さんがやられたような議論が第3回目以降も交わされて、素晴らしい飯田の基本構想に繋がっていくのだろうという確かな思いを持つことができましたので、本当に皆さんどうもありがとうございました。お疲れ様でした。

○部長 ありがとうございました。最後に市長からコメントをお願いします。

○市長 皆さんお疲れ様でした。率直な感想はすごいなと思いました。40分ぐらいですかね、ワークショップの議論は、こんなことが他でもできるかはわかりませんが、本当に飯田市民の実力というか、すごいなと思って今日のワークショップを拝見しました。遊び場という、行政が何かするのと一番遠い位置にあるかもしれないことを皆さんの力をお借りしてやっていくことになりますので、また第3回目以降はより皆さんの力をお借りしてやっていくことになると思いますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。どうもありがとうございました。

○部長 ありがとうございました。本日、皆さんに出していただいた意見をもとに、仮の基本理念を私どもの方で考えさせていただきます。その仮の基本理念を第3回の市民会議でお示しして、また意見交換をさせていただきたいというふうに考えております。短時間でしたが意見交換をしていただいて、ありがとうございました。最後に事務連絡をさせていただきます。

5 事務連絡

○課長 本日はどうもありがとうございました。ファシリテーターをやらせていただいて、自分で考えるということもとても大事だと思ひましたが、人の話を聞かせていただくということがとても大事だなと改めて感じました。自分が思ひていなかったことや想像がつかなかったことを聞かせていただいて、私自身もとても勉強になりました。次回以降もぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

事務連絡ですけれども、次回の第3回市民会議は10月22日（木）18時から開催いたします。場所の方は今調整しておりますので、改めてご案内をさせていただきますが、9月に開催通知を送付させていただきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

また、アンケート用紙をお配りしております。本日の感想を記入させていただきたいと思ひます。会議終了後ご記入いただくか、期日までにご提出をお願ひしたいと思ひます。受

付にて交通手段記入用紙をお渡しした皆様は、本日の往復の交通手段をご記入をお願いします。アンケート・交通手段記入用紙を記入された方は、お帰りの際に出入口のかごの中へお入れください。以上です。

6 閉会

○部長 はい、ありがとうございました。それでは、以上をもちまして第2回思いきり遊ぶ親子交流施設基本構想検討市民会議を閉会させていただきます。委員の皆様、どうぞ気をつけてお帰りください。ありがとうございました。